



熊本県高校駅伝で優勝し全国駅伝へ出場

## 感謝を力に。感動を与える走りで恩返し

栗原 <sup>いずみ</sup> 泉さん(千原台高校2年=上染田)

**平**

成30年度熊本県高等学校駅伝徒競走大会が10月27日に熊本市えがお健康スタジアム発着の周回コースで開かれ、女子(5区間:21・0975キ)に出場した千原台高校(塚本大介監督13人)が1時間11分34秒で5年ぶりに優勝した。栗原泉さん(同校2年=上染田)は最終区、5区(5キ)を務め、区間賞の走りでもチームに貢献した。

2度の九州大会出場など、湯前中時代からすでに頭角を現していた栗原さん。当時「姉が果たせなかった九州駅伝と全国高校駅伝に出場したい」と緑さん(現:東亜大学2年)と同じ高校に進学することを決めた。

1年前は、1年生ながら大役の最終区を任せられ、17分32秒で区間3位。千原台は4位に終わった。昨年12月にはケガでレースを離れ、ことし5月まで思うように走れなかった苦しい時期が続いていた。

レース前日にはコースを知り尽くす先輩、上田結也さん(創価大学3年=野中田1)から「入りを突っ込まず、でもペースは上げて」「気負わずに行け」などと助言をもらった。

迎えた本番。「チーム全体の調子が上がっていたので、すべてを出し切りたい」と勝負に挑んだ。メン



「明るく元気」がチームカラー。個性を尊重することが練習にもうまくつながっている(左前2番目:栗原さん)

バーの最高のサポートや勝負所の前半で必死にくらいついてくれたチーム。1位でたすきを受けた栗原さんは自分の持っている全力を出せる確信を持った。5キを区間賞の17分06秒で走り抜き、一番にゴールテープを切った。

「つらい練習を一緒に乗り越えてきた仲間、下宿でいつもお世話をしてくれる監督の奥さんや、応援してくれる皆さんのおかげで再び走れるようになり優勝できた。全国大会では、感謝の気持ちを忘れず、皆さんに勇気と感動を与えられるような、千原台らしい走りをしたい」と栗原さんは決意を語る。全国駅伝は12月23日に京都府で開かれる。